大地回復のため

支那軍隊總動員

陳濟棠の顔代表宛電報を

事務局に提出

功。

治安維持

聯盟事務局に通告

(日曜木)

著し支那が日本の手によって表版東軍司令陳濟堂は職盟に對し

郷監事務局に對したの一、地の二十七日養」支那代



另一水 約 人行變 治代票本橋 人賴縣 盛武 村本 人制印 地番一批阿爾公東市連大

社報日洲術社會式株所行動

國府、伍朝樞を起用して 小國を抱き込み 争を圖る

保護である、かく支那が米霧を抱き込んで日本野抗を筆すべくその前浜養族は注目を要する(寫真は保護である、かく支那が米霧を抱き込んで日本野抗を筆すべくその前浜養族は注目を要する(寫真は伝 初 框 を再び起 たしめ米 支 震三國の接近を圖り對日積極抵抗を爲りメリカに働きかけると無感してかり、以下眺冀中の騒楽公使後低の人選にも頑大者感を爲してあるアメリカに働きかけると無感してかり、以下眺冀中の騒楽公使後低の人選にも頑大者感を爲してある

んを擧げ熱河防備 北支に三 十餘個師を集中

必要ありとし右要求全部を受した。

廿五歳未滿者の

禁酒法案を提出

禁酒期成同盟も活動

個師の兵力を北支に集中し一切の計畫は極感に一 極東へ調査團派遣 をして三

本年二月末極東へ調査を表のしたと、 ・ のによれば目下パリ 参加すべく、及 地中のアムステルダム パートランド。 ・ の際を反照を聴って終 ・ のでは、 ボートランド。 反戦會議常設委員會が カ教授の参加を求むベンド・ラッセルその他

回答文

鬼將軍多門中將 の正式陳劇の正式陳劇

米人殺害事件 を改五名、画同三名 を改五名、画同三名 を改五名、画同三名 を改五名、画同三名 法別成同盟では

蘇聯の活動調査

麗はしい劇的シー のために傷せる

執政に離滿挨拶

露の對日政策に

何等變革は無い

露支復交による影響

宮川書記官の歸朝

等近地官宮川朝大氏は今回本省の ソウニート・ロシ

「東京廿八日發至急報」政府はい

政府が休會明けの議會に

休會明け議會に滿鐵增資

信じ兼

滿鐵當局談

多門将軍の熙財政部

對日政策は 何等決定を見ず 内政の重要議案は可決

要演案可決され、内部 こと機期された程の成果は得ら 大十二日遂に開館した、内外、註=汪精術(廣東派)は目下外遊中、中央軸監を體會談は食期八日 あものである たが同源代表さして陳公博、順 たが同源代表さして陳公博、順 たが同源代表さして陳公博、順 三中全會の收穫

殊に現南京鉄橋の中核を成す

高流画の基礎も日に増と固まつ をんごするは悪けらいこで、 をんごするは悪けらいこで、 が来支那の平和ご共に東洋平和 の光を輝からたいものだ

南支における

んの、変、こう見えて 知って

満蒙の戦慄の

直木三十五作

電 人つて行った魔を見た、電 女経速は、 一般を見つめてゐるだけであっ と、低く云つたまと、ちつ と、低く云つたまと、ちつ

い丸船客

石川事務官の



は患者が絶衝突線と頻繁のが果治つたのでチブスの場合の引便 なりく実人が即つた機に云ふがこれは極少数の側を云ふとで出場会になるとの人が四十度の無で飛続を追うである。とは患者が絶衝突線と頻繁のが果治では四十度の下の無でも呼ばするが開西のである。とは患者が絶衝突線と頻繁のが果れてあるものである。とは患者が絶衝突線と頻繁のが果治である。とは患者が絶衝突線と頻繁のが果治である。とは患者が絶衝突線と対象のが表して神臓になるとのである。とは患者が絶衝突線と対象のが表して神臓となった。これであるが現代なって慢性神楽になるものである。チブスの場合の引機とは患者が絶衝突線と対象のが表して神臓となった。これであるが現代なって、大変のの変になっているというでは患者が絶衝突線と対象のが表して神臓になるものである。チブスの場合の引機とは患者が絶衝突線と対象のが表して神臓となった。これは極少数の側を云ふとで出場合の引機というない。

いの中で治療がどの位治り能いものでも

發動船の火事

七日午後一時三十分順西擺りらされ駅城砕りに多代を極めてる「廿八日入港が歴れて飛来の戦京山」第一里の所の、火車・一般り騒と、のごで北浦の寒熱にさっる第一線の島東釈士を整備すべく

一里四方三千萬坪

施行が施行

は皆様に聴きたい、岡岡時に去月二十三日かの時に去月二十三日かの時に去月二十三日かの時に去月二十三日かの時にまり、むしろあちの時にまり、これのでお話

座路秘密に歸國

日

瞬間の場構中であるが蘇聯

文章は目下トムスクしむべく支が側と交渉中である日登。順民政府入覧、採制は近く秘密機に随路締殿せ

蘇聯側が支那ご交渉

四十名の大工さんが一塊り間工物 網看を要求してをリーケ月根前約 「心層さん達です、 心層を表表してをリーケ月根前約 「心層さん達です、 心層を表表してをリーケ月根前約 「心層さん達です、 心層を表表してをリーケ月根前約 「心層さん達です、

内地農村青年の

満蒙熱は凄じい

東北六縣中の

血縣は出品承諾

滿博出品物誘から

太田哈爾濱公所長談

滿洲國軍が急追中

通鑑方面に逃走した、李海市など

一最後か

東韓し日下追撃中にして天際際は、実轄要、実轄要等は未旬附近に在のる天際駅を三方とり激撃して之か。

の叛軍から仲間外れにされ 原軍もいよート献後のドタ

厚司に卷脚牛で

職人達續々來滿

北滿の建設工事に

熱河方面に遁入の 学海青匪を痛撃

劍舞師の軍隊・

その企圖を覆し潰走せしむ 我が茂木部隊の大勝

茂木〇順は車用品等移用品其他旅一

遺骨着連 加門巡查部長

満洲の風土病 研究材料を蒐集 京大木村潔博士來溢

港香港場で正月の休暇野部満郷木村保停士は

四師團詰記者團 軍隊慰問に來湯 全國の慰問品を携

東京新聞社の第四個製締記者展示するが各種観及東京会都に新し大阪ナル新聞社及報知、護資報、謝の意を傳へ集行の試問品を分

のところ、歴典の賦に掛けておつ「戦火した」のところ、歴典の賦に上の戦」に脱其一同上陸中 一一時は大事に至つたが午後八時頃の私のところ、歴典の賦に東京中の要動総派 た外盤に引火し附近の高徳に駈火

右は市内製物ででは置

自暴 の自棄から

五人を残して家財 不心得な就識して引き取ら

はり扇とのどで

若丸が軍隊慰問

行六名ご來連

士を置去る

失職者の歳末哀話 米 職に曹操い小陸トランケー像な神神 れぬ蛇の森に自製自動となつたも ころ市内外の第二九番地殿已旅館 おいています。 日附を以て計断、相談後、経憲統 を就・影散をそれた、揺戯りつ歌 がまたがいの極極れば左の歌り

大連グ

水

今年も是非御用命願ます毎年御高評を得て居ります

(御電話次第参上致します)

開

一二、悪栗物並に工作物の審査及び 調可 及様式の制限 三千圓拐帶の

美女群のサービス

どうぞ是非一度御出を

建築物の映動移動及び其の中 市内信濃町郵便所の公金三千絵園 ・ 一方内信濃町郵便所の公金三千絵園 ・ 一方内信濃町郵便所の公金三千絵園 ・ 一方内信濃町郵便所の公金三千絵園 ・ 一方の信濃町郵便所の公金三千絵園 ・ 一方の信濃町郵便所の公金三千絵園 ・ 一方の信濃町郵便所の公金三千絵園 下村は不起訴

八日附不起訴慮分となった の記録 多報

北の風晴一時雲

込

所

大連市信濃町一四〇番地

大連會館ダンスホール創業事務所

歲春贈答好適品 極村洋行 型と

原地を中心として東は伊 教護氏の間に蒸敷目道路わりて區 内の土地耐寒寒止も飲物前 新國都感覚指定地域 越渡地を結ぶ軟術道路環狀幹線を 「決定石は養表と同時、

國都建設諮問

委員會初顔合せ

いた新建設地

滿洲國新國都建設案成る

一期五年計畫で

各地溫度 十八日午後一時 十八日午後一時 東京等下二 新京等下二〇 金面圏は Empinalitioの

地震転地帯の決定

発展物の設計と各省間の指定

用實地、資料

東洋一の大ダンスホールで 年内に開館する

募集員數 同ダ 見サー 五十名面會時間 午後四時まで

春丸歸る をこら

蛇の目審司主

お正月のお餅は林洋行で

よいお餅でよい正月をお迎へ下さいまし

林泽行魚

安た現した、スツキリ選びた二本、十名職やかな事だ。午前十八次の見着鬼が髪び裾に懐しい秘一三等四十八名。女のお客さ 三十日大連丸ご交代 人起訴さる

大連丸に残って定期を繋む事となる。 大連丸に残って定期を繋む事となる。 つた事だ、三十日から麒麟点天丸 一の煙落スペシャ 特に纏つたところはソシアルルーのでは出来上つてゐる。 つた事だ、三十日から麒麟点天丸 (保証のエニホームの 大連丸に残って定期を繋む事となる。 何さも云へません、零下三十度 のが本常の軍隊が同じを るのが本常の軍隊が同じを ものが本常の軍隊が同じを ものが本常の軍隊が同じを で また。張り扇子さのごで嫌 しみの少い陣中第一様をお見響 で るのが本常の軍隊が同じを した。 のかのです 延の第二回公外に於て結審となるに至ったので明春二月十三日 第二の五一五

豫審終結

たる臓家主義感慨たる総武会の合

安惠棧日商部の

眉氏留置さる

出資者の仲間割れか

一村六名が打速

非常時候家な医療でる資格なし 学り、シタル故上記各證書及印鑑が何人 特」の「当年」を 特」の「当年」を 特」の「当年」を 特」の「当年」を 特」の「当年」を 特」の「当年」を 特」の「当年」を 特」の「当年」を 特」の「当年」を 等して、 が、引出シーン要スルロ艦子直入の が、引出シーン。 第二次に対し、 第

昭和七年十二月二十八日

で起脈破容動理中のところ二十七 | 中央解集・戦略に四名会部有罪と | 中央解集・戦略に四名会部有罪と

あしむべきものであつたのである とむべきものであったのである 滿博顧問の ものであったのである

うまく 電話七四二九番

速市二葉町二番地(西後町通り) 一等より十等迄 | 一個二十銭(夕食附) | 一個二十銭(夕食附) | 一個二十銭(夕食附) | 一月七日(日曜日)午後一時より

皿 盛 重 詰

御待望久しき一大舞踏殿堂

たちに推一本

レコード部

話話

四八

一四

蓄音器店

と御覚なさい。あ

を選ば無事に終った。としかと

太平洋爆擊隊

でも同性のあさましい。 を見届けたお干は、はから でも同性のあさましい。 変を見た。

KASGEL

死を遂げたお極の使間、緩らしや人を強がぬた。間宮一のために非業のの日本 たりした。日頃のいきの小笠原族 のために、隣の原の仕事な、身を がして仕違げた力士一同だつた。

らしやめんたちは、まだ膨光にあたりは紫色に確んで行つた。

日九十

全部の運搬をかはつ

ったならば、貴方の手で販押へる ろではござらん。もし職業者が居 ろではござらん。もし職業者が居 部に、鬼鹿毛の引渡 連すべく記載し、ツリビラの用意 までしたのであるが、本社の意向 によつて突然要要すること、な り第一連のみは「歌なる乳房」と 「第五郎榕子」を同時上映し、第 ではなれる。

大連パテー保全部では古例によって新着の体品の事業を被表したが 新春吉例のパ 作品募集

又人置は第一部(從来如何なるコ であるが經費に新作品たること、 であるが経費に新作品たること、 ルの有無日由

- 仏樂部、一月栄日散表の答 一等二名、三等三名、熊幕宛名は 一等二名、三等三名、熊幕宛名は 一等一名、三等三名、熊幕宛名は 一等一名、

機構堅牢・・・・真に完璧なる肉聲・・・

二個中等學点映画テーは一月四日大連議録社員倶樂部主催の第四十 ルブータボクツヰウスンラブ

高雅にして

堅牢なる新精鋭機

軽快なる體裁

音色の美

優秀至廉の

九

まるで解みたいだわ

一本本不勝の事質を見けてにはぬら 無化の時間に伸ふ難しい出現、

に無恰好だこと、きつとべい、あの男は、まるで松の樹の

れるいけ好かない奴

かの女には、

娘たちの無持がわか

映画館で内地と同時試切すると共に森耕子の来源な實現させ、舞展行業一選の呼び物である森耕子様意の無技物語「夢の花嫁」を

レコード正月新譜が入荷しました

田中レコード部で、

何でも揃

木洋行支店

0

段でお願ひします。本年中は手持品を最底値島性暴落の爲皮革諸原料暴騰し來春は二三割

か

買

圓

景品

コロムピア、ポリドー

ル

ガル、

ジュ

≫夢の花嫁と森靜子≫ 戦策キネマの報報

ニアー、 ピクター

ひます、賣切なりこ 全滿總輸入元

(可能物便郵槽三期)

Shop

國

送の一行は、

萬

兩

3

鬼鹿毛はわらゆる勝雪なわびせ

際の場別の中で、十幅の大

大賞をならべて張り称してやると 「警生ツ、すべため今日ツて今日

番組念よ決る 帝國館の正月

映書館と同じ 第一週は中央

りは不已値上致す可くに付豫め御報らせ申上げます。大に日米爲替は一向恢復に至らず來る昭和八年一月新入荷品よる皆を樣の御引立の賜と厚く御禮申上げます。な皆を樣の御引立の賜と厚く御禮申上げます。

覧下さい 毛皮陳列して 場人ショール

西比

利亜毛皮

直輪

現在庫品に限り舊定價を維持します

大山通

♥遼東西貨店毛皮

三一七二巻(御道が大祭漢品持御教じまで景品付大変出し

米國ブランスウェックラデオ蓄音器

·水仙·門松立付請負

話六四一五番

高

谷

園藝商會

無難し触くまで松竹家一社歌で押での根照い力によって他航機都と開い力によって他航機都を開けた。 松竹映像が持つの根照い力によって他航機都を

MODEL NO, 33

常

時

コた

「痛

ド快生

白熱的絶讃の嵐の中に立つ 發賣以來ラデオ蓄音器界最高の賣行を示した超優秀器!!

が安く買へで 見いレコード

豪華を誇る最高級蓄音器 號ンソパヤイダ

驚異的廉價・・・・吃目艷麗ガ・・・

燦たリープランスウヰツク蓄音器の眞價 元旦封 +7%

の懸見

活鉈 脳ひます御どうぞ御

注文品ト絶對カワラヌ

 $\circ \infty$

一度御越しを順

廣島市養會特撰

盆松竹栽梅

新荷着

京宗號

經吾平椿油



大連會院小泉科學是淨田博士詢推興子供百日暖感宵に特効途布藥



後五拾八金 入貫百三 罐中 ンメルアトーキス

部貨雜店商勇本山采溯流

題月

は

造製 元 造 製 社會式株ンメルア本日 0

品 特別奉仕毛足袋(一足)十眞綿布團(一貫外)四圓八十眞綿入銘仙掛布團七圓五十 附 錢錢錢

前 五圓八十錢 =

ヤ

お歳暮用物三正月みかん大賣出し

話果 八七三

 \circ

株。式。界

波瀾萬丈に終始

年末掉尾大飛躍

インフレ景氣待望で

春高見越し濃厚に越年

財界一

年を回顧して

商議要路へ陳信雅穀類の課税方に關し

7、蘇子、槍貫子の五品 情報とされてゐる大麻

東京府で計畫

明年度豫算に經費計上

H

一葉のて明年度鎌葉に駐って研究の上決定する段取であるが、復と共に益々起まり、 は原立機工製験値及所機工課に於の憲派となった階段場所に就て

滿洲貿易斡旋所

機出 むしる過少として漁精地出工業の を賣 その他同工業の要品たるレシチン を賣 その他同工業の要品たるレシチン

特産納會

五五五

滿洲國官吏の消費組合 設立説に怯える

新京の商店は對策に専念

九一百十四噸、帆船二千四百九十七隻

商品市場

袋は商品

連案公司支配人は二十七日後新京 中のところ 一名間に意見の一致 中のところ 一名間に意見の一致 を見たので、二十六日の間 徐院曾 た見たので、二十六日の間 徐院曾 た見たので、二十六日の間 徐院曾 たりにので、二十六日の間 徐院曾

株主總會

配當八分据道

り所! 離脱物突紋が出来たい 減ん | 機取りな企圖しついれ | 機取りな企圖しついれ

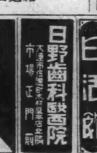
利益金

を売し、就中継州占権の膨勝。てるたが月平突近内ト語を取り、根海は海撃撃撃疾後に
一不乗し手能つて、一斉に活象構造。 た入れ相場は反落したが大命再降しま能を実験。下に人命落者さ此悪便近野から様の、武事野戦から撃り、根海は海撃撃撃疾後に
一不乗し月末に致りては戦冷撃撃撃が決めら様。 一本でして主義を実験である。 た常化し近年間に見る腹壁をの振りた。 は新春野戦から撃り、他の人急強く連り乗のがある。 な常化し近年間に見る腹壁をの振り、心然を育り、根海は海撃撃撃が決める。 なって五品株三十両を乗って制造し、心然をして五品株三十両を乗って制造し、心然をして五品株三十両を乗って制造し、心然をして五品株三十両を乗って制造を乗って制造を乗って制造し、心然をして五品株三十両を乗って制造し、心然をして五品株三十両を乗って制造を乗って制造し、心然をして五品株三十両を乗って制造を乗っている。

・卅日の







イル関校主流

から

時代の驕兒

日他の 京

金只二十銭

三十日現在

是所要更多不 是所要更多。 是所要更多。 是所要更多。 是所要更多。 是所要更多。 是可以是一种。 是一种。 是一。 是一种。 是一种。 是一一。 是一种。 是一一。 是一一。 是一一。 是一。 是一。 是一。

四四六四五上

加賀矮動 春は来ルり

0.五四

作 取 峰銀順洲陸營 所店標 實情的 未勒引 手 支積銀銀銀貯 家定珠產願不拾 商 品定先彩品店金號行行金金器屋金金之表上

海 常 単

資 未勘引 债計商

金金金料金差金之 部

森永連運係出版 張

金金金

御座金金金塚全事左ノ如

0

111 音不

産

高 當 替 數 數

己ケ罪 の天嗣 龍。奇潭

兵衛 一日まで世

業

空源

產職 計器

滿電總會

飛躍的な業績

明年度に建設決定

製品は専ら内地市場へ

採算の基礎も見極めついた

の酒精抽出工

場

八0,000 一服の商状

西氏を由

新は 洋艦五千八百二百十五隻、二千六百

各方面から注視日銀の所有公債賣却が

大連(海灣公司中)110~00元六八

滿洲國官吏 住宅資金借入

鴻業公司ご商

三國万流

期

鞏固

滿洲國の財政

現在の高率な職税は一種の悪税一能性を示すものであると

の結果左の如く内定した 機内護務協議 太郎、作田高太郎 大郎、作田高太郎 大郎、作田高太郎 大郎、作田高太郎 大郎、作田高太郎 大郎、作田高太郎 大郎、作田高太郎 大郎、作田高太郎 大郎、熊明けの蔵粉大臣の施政方針 、 思想問頭。野村嘉六、濱陽武に對する民政策師の質問者頭 、 思想問頭。野村嘉六、濱陽武に対する民政策師の質問者頭 、 思想問頭。野村嘉六、濱陽武に対する民政策師の質問者頭。 、農村冀糸問題 高田紀平、

・ 九年度以降の変制をなずに決した をたの事項の変制をなずに決した の本項の変制をなずに決した の表現の変制をなずに決した

質問者顏觸れ

松田氏を先頭ごして

日

休會明け民政黨の

豫算質問要項

聯合協議會で決定



政 ホッと

満日社印刷所

財政整理にも着手 制改正と並行し 齋藤首相葉山へ 政局暫し『静養』期

休會明け、委員會設置

社會问题 山桝儀重。

せて著機線敷の液説を以て休會明 上電話、球策、決議を要表し、 焼 民政黨大會

鐵道問題は 結局可決され

獨占の弊を除き

滿鐵倍額增資

休會明け議會提出

三省連絡會議の決定

時禄替へ後る故に實際上一



常教者基金積立に関する新蔵際

院院があつた金融問題に就ても理 災害に依る窮乏な救済する為め参られる事を希望する。との意見の 政心以つて救済し得ない例外的大院遊樂の見地から破可く之を願せ 際が組織された右側側に地方的財

満洲の木材伐採 識した。 共榮企業社で計畫 としてし趣言には警戒であるが智

全般的福利の増進 日滿瓣提携懇談會 災害救濟の

決定明著一月八日歌令される 大審院部長更迭

芝電(43)話

四三二

改

難關 軍民 一致努力せよ 多門將軍、告別の辭

在滿同胞に對する 一型月流洲駐荷 一型月流洲駐荷 一型月流洲駐荷 一名後援に義ふする 一名後援に義ふする 一名後援に義ふする

見られるが、一方自軍派乃至總裁 うと であるから、本案は上程される場 あつ たっぱい であるから、本案は上程される場 あつ かっぱい かんしゅん こうで 選舉公營以外の 運動を禁ず し無真の軽率を動か

南亞聯邦も

金本位制を停止

堤拓務次官渡滿

谷

選舉法改正の

日養」南亞職邦政権は金輸出を禁

對外貿易 五日迄に於ける七年度、八日養】大蔵省幾表し 入超二千三

定期叙勲を宮内省から養表さ官、華族其の他一千七十名の

歲末定期叙勲發表 二三、四五九二三、四五九二三、五八三

親祭の上、朝鮮経由明年一月 に向ふが大連、新京、ハルビ 特殊使命はない 八日午後七時半東京縣發漸 龍二十八日發] 拓發

聖書物語(養的の後) キリスト教の本質 宗教は信仰の起源 ですればこそ の。唯物辯證法 事物語(新約の巻) な き

佛新內閣信任

全部の 廉丁が食施される 流布字小

多門二郎

主要都市から

不生產者狩り 蘇聯邦が新法令で

【モスクワ二十七日數】 ※職邦中 リ得ねものな除外して年産的仕事に数することになった、法令の内容は おすことな命じたものでこのためを数し帰邦全部に亙る主要都市よ 移すことな命じたものでこのためを数し帰邦全部に亙る主要都市よ 移すことな命じたものでこのためなが出し他に要請している。 イエフ氏な局長とする一局な新設を検査することを規定してゐる イエフ氏な局長とする一局な新設

八田副總数は三十日入港のう 伍堂、山内南氏 卅日便船で歸連

野

田副總裁 苦

强

別しては適宜改造か合するやう器を大之な質能し現に建築中の建場に建築中の建場に建築中の建場に

八日爱】山本內相

地方長官に通達

災害防止 高層建築物の

し紙に英國な始め二十七國が

考の條件

佛戰債支拂再

辯證法的唯物 十一谷 蒙二郎書 ルキシズム 簡感想 師清 藤 春 共著 清二署 國 一署人 定價三十 **妖** 定 原 上十 定價四十錢 定價二 定價五十 仮四十銭 門線淡料土後 錢 途别六 錢 錢銭 送料六錢 父歸る他世機曲 學一般生 六篇(表 無) 送 定 の表 存紙 選番 つち 年舞踊 野原の 國民歌謠集 0 0 を 旋行邊に 日

口五十萬を豫想

新京建設計畫**發表**さる

一百平方キロ

社

說

生の自治小都



が人と難し光板がかの割りま が人と難し光板がかの割りま

のダンスを見る気が

市

沈秋世

奥地筋質り

大豆軟調

があしのは物がいかった。 というとの今度がある の紹句で読ると 動何に無悪つ

も時と所に依

御用納めの式を行った

の年末年頭

○現物後場〈銀生〉

主任級を自室に集め一場の調示を

とうがあった又族順民政署

象と回目の

るため買上産金子

三六二二十四二上

不動產貸附 除記に利用する地方で酸程場が経 送の困離な地點、現大洋を一時に

新の結果、何れも二厘方引下ぐる ・ ・ 東京二十八日登」明年度の不動 二厘利下 これも極めて小範圍に止まるも當行はれるものと見られてゐる

指令を載した、施設の大力を表した。 段附は前記利率

八質を救出

河邊岸本兩氏

装だつたが、賞

市場電報

条 後導二節

潮淵に於けるソ聯の經濟的活動

小小泉山

貞知

特輯世界政治の中心に立つ滿洲

特價二十級第一時

ソ聯・満洲國・日本

聯盟調査圏への回想片々

満洲と列國の文化政策の

面

大谷 宏

旗主 吉 一人宏雄 六一七一三話電 八五六一個大器領

北滿特産の出 殖薫、東拓)

頼京への馬車輸送 『聞風特電廿八日編』 代間島特電廿八日編 まにおける大阪駅の東部を加き、出る十月延吉駅老頭部に於て人質とる十月延吉駅老頭部に於て人質とるれた河湾、岸本駅邦人を救出し 人絹上場認可

京米、職市場は一月十五日より人 総認可电線中のところ廿八日正式 総認可电線中のところ廿八日正式 に設すがあつたので大阪三記、東 に対すがあったので大阪三記、東 大阪東京で ・此人塗の限の中では洗着く所・此人塗の限の中では洗着く所

勝山洋行

生徒募集縣於於行行行行

北平政務委員會 場實施の見込みである。 も、此人達の関の中では漢章く月 は解つてあるからに外ならね▲そ は解つてあるからに外ならね▲そ は解のするなく、北平に れと恰も相呼聴する短く、北平に とってあるからに外なられると の抗日家の解散縁に人縁があるの

「北平二十八日費」

「北平二十八日費」

「東京教育は加熱的に無河及び北支の

「北平二十八日費」

「東京教育、加美術学及び北支の

「北平二十八日費」

「東京教育、

「北平二十八日費」

「北平二十八日費」

「東京教育、

「北平二十八日費」

「東京教育、

「北平二十八日費」

「北平二十八日費」

「東京教育、

「北平二十八日費」

「東京教育、
「北平二十八日費」

「東京教育、
「北平二十八日東京教育、
「北平二十日東京教育、
「北平十日東京教育、
「北平二十日東京教育、
「北平二十日東京教育、
「北平二十日東京教育、
「北京教育、
「北京教育、
「北京教育、
「北平二十日東京教育、
「北京教育、
「北京教育、
「北京教育、
「北京教育、
「北京教育、東京教育、 掘って撃 つて此の決議の結果 に同様たること論なし▲国

市中銀行や信託會社の希望に應じ 日銀所有公債 賣出高千萬圓

開東龐御用納め

説に野し無難に否認してゐる の本部するので、その希望に感じ を確認の要より出たものだとの風 ので、その希望に感じ を確認の要より出たものだとの風

長、吉敦顕路常局では流洲國交 國幣建實施 兩鐵路局近く 恋なすることとか の事務を執る響である 十八日、瀟洒園各官殿にお

開東麻醉今日十八月 公學堂教諭 佐藤慎一郎 *

唯現大洋

保合開散

材料薄に

說明香進坐)

等がラインの商会

最新於國衣無水清 淨洋服 毛皮 絹物裏門

一世度

元旦より

ることとなった。年末年始

漁 二四二五 ●四二五 漁 二四二五 ●四二五 地水高 二千五百種 単(出來不申) 米(出來不申)

四四五四四 海軍燃料廠御指定品(值段者、股本で、英して防火養生の必要がありません。 を加きて助火養生の必要がありません。 耐寒期季

日調 十二月 値 號 1

n 通 日 發

文統の確實事業十種
◇民が確實事業十種
◇民が確實事業一種
◇保予成功の秘訣
◇保予成功の秘訣
◇保予成功の秘訣 ガイド 海の日本・海外 平洋・第八十九回、先輩

神民送命一億国

露支復交と 認可あり次第 明春、事業着手

位堂理事初て語る

中國共產黨活躍

(上) 上海特派員 日森虎雄

大地に廿六日大阪に向び開係資

全滿各書店發賣

發行所

苟く

村上滿鐵理事 郷里にて越年

愈々發賣一社風 滿洲文化協會編輯發行 四六版

劃期的機會に於て編輯、內容等全部を更改した。最新各種の資料を 茲に滿洲は一罐全世界の視聴を嵬め有史以來の最も意味深い活躍と ち得た殊に本年度に於ては新しい理想に輝いて滿洲國の創築となり 基礎として、滿洲一切の事象を網難した。滿洲に關心の有無を超越 なつた今日に於て、「滿蒙年鑑」を「滿洲年鑑」と改稱すると共に、此 本年鑑の聲價は創刊以來十有二年に亘り、斷然內外の類書をノッ し、全く滿洲が持つ唯一の整備せる國際年鑑たる賞録を贏 150 郵 10

題

ふ留發 [編名 物似名本 総行 育洲解 あの 無年 なに 編文並 り出に鑑 を御 纂化に "版 類の

洲

日本文字を解する者の一日も手離せぬ資典である。

化協會

月光の窓にしみつく時は遠方人もめざめてあ

日

松竹梅の盆栽室内に入れた













會社製品 髙新

匊华判三百廿頁

ン 62 型

同情週間義金

册

附

錄

ベントウド球使用 大阪朝日懸賞一等當選品



ダイナミックスピーカー付

ベントウド球使用

柳盟ニユースはラヂオから 優秀ラヂ オ提供





天裝飾

懿島 津製作所大連



醫情博士 電話八二 五番

日毎に増える

電車の忘れ物 ノンキなマダムやお嬢さん達

年の 別の流れも軽く1 では高れた方は電車乗換へのとき なり、銀往く人の足も次繁にあ たいと希望してるます たいと希望してるます 遺失物係迷惑の事 お正月用の

さすがは年の暮です

湯ざめをせぬ法 家庭重寳記

ひつばりだこ

間 生後一年四ケ月の女兒、今 春種痘のなり恰度急性脈炎で入 春種痘のなり恰度急性脈炎で入 貴女のお子さんの場合は レントゲンを撮つてからに

肺炎を患つてから發熱

三二年婦人界の展望

う日の名

勝ち種痘してもよ

功する刑

北成就職法(素語) 生活統制法(東語) 生活統制法(東語) 一株式利殖法(東語) 子弟教育法(東語) 子弟教育法(東語) 十の事業界はどう

特別大演習大阪御駐輩の砌

光浴を賜ふ

は

說明書御申越次第送呈

率天、新京

式會址

胱膀

9



理



米不況に喘ぎつ、ある祈桐九、一 及び見下例年に見の好歌範で「濃厚」 漂順千金素蘭氏は浮懸以 り撫順縣下廳来の注文総到す

か呈してあるが今秋以来の歴**を活況、 出跡は既に五千石に及んである

凱旋部隊送別會

○兵策○職れた

日滿官日

石同主催

撫順千金寨商民

折柄二十七十年年の場所の殿重なる

八質を拉去

金も五千餘元强奪

續々と轉出

大洋百五十六元、大洋雲六百五十一連不製四の大洋百五十六元、大洋雲六百五十一連不製四の土地、一連の連歩が、根標所持の五六、より無順等を構造を開くし家人を脅迫の上地、一連で製した。

宿 大連病院右前本社裏御座 大連病院右前本社裏御座

大連市二美町六〇大連市二美町六〇大連市二美町六〇大連市二美町六〇大連市二美町六〇大連市二美町六〇大連市二美町六〇大連市二美町六〇大連市二美町六〇大連市二美町六〇大連市

大連市権制リニニー大連市権制リニニー

呼吸器障害に

林春 諸海線ハリ炎専門療院

著名薬店、食料品店にあり

電気 舶来オスラム気折入球 器具 電熱器及スタンド類 漫画の一五・<人六へ香

關原正義先生創製

(電三七八九番)

不況に喘ぐ

支織道局部線調査視察の途中成吉 なく捜査したが死職は未だ験見さなく捜査したが死職は未だ験見諸所残る職 れ丁遂に一時死體捜査を中止する

販路擴張に シニュ 4

1-・ドリール氏同電線技師ニグ 佛國土木技師來撫 一二十六日満洲國外交部歐米科長林の東道にて炭礦其他な観察機能を

万面が総路衛航監督 全力を盡し捜査

の山を越え鐵道を横断した棒 「職な得な戦山OO隊、 に現れ西方に向いつ、あ デジスギスカン間連の深谷に向って 死體捜査に出棄する由 でである。と

武德會支部 弓道部納會

彩了したが臨日の成績は 本幹海の開奮の齢を欠納式を 場合の控制、二十射の仰人

つて他全なる議門

【金州】金州民政署に於て今年初: なから本月二十七日後に取扱った 党部作数は三千七百件を突破し會。 てない、激増振りであるが銀馬騰或 のは今年初めの不配線に依る既界: **連調の反響と見られてゐる** 女子にも責任あり 女子師範宋靜一女史の獅子吼に

満洲國の建設には

毎月送りたいさ一個から次の如き手紙を

登記件數增

時借金の許可願いに出るものが無 とか内地の困つてゐる剛親のか

臨時借金 藝酌婦連

を表示しています。 一般不用品は他店より 高値質受ます。 大原電話二二五九五 大原電話二二五九五 大原電話二二五九五

総家 傳湯 連市監部通三十二四 大福訓練 吉昌商会

以 中 入込派遣 中 入込派遣 附添婦 通勤 派遣

道多忙會員至急募集 減心看護婦會主 票婆 三 鴻 芳 子 聖德斯二丁目三四六

家政婦派遣

門院の應需



日本郵船株式舎社大連代理店 朝鮮船株式舎社大連代理店 明新部所株式舎社大連代理店 京都部所株式舎社大連代理店 京都部所株式舎社大連代理店 京都市山縣通電話「七八四六番 大連市山縣通電話「七八四六番 大連市監部選書・ 京都の一、九一一、商 電話四二六四・五八八八 乗船切符養質所 ジャパンツーリスト・ビニロー ジャパンツーリスト・ビニロー

マパンツーリスト・ビューロー ・ 東国大人九一・五〇〇一 ・ 東国大人九一・五〇〇一 ・ 東国大人九一・五〇〇一 ・ 東国大人九一・五〇〇一 ・ 東国大人九一・五〇〇一

●芝罘・城澤 大同丸 一芝罘・城澤 (禁州大 大同丸

||阿波共同汽船

一日清汽船越出帆

一角地帶の敗殘匪

くゆく暴虐

放火、掠奪、强姦の限りを盡くす

日滿軍警が包圍追撃

(四)

親た一誠し警備についた

蘇炳文が銃殺は確實

は二十六日午後六時から郷蒙倉者二十餘名にて支軽郷蒙倉者二十餘名にて支軽の疾災阿部新三郎氏の矢渡 竹馬氏(以下略)

がある故

より常はの探知取調べとなり約三 より常はの探知取調べとなり約三 一 もので本人も染々と感でる處あり 撫順の拳銃强盗

感動を與へた宣撫班

近江三旬時前を終二一〇四七番

■ 新安徽党 · 三 宝囊 經符

店海行海山丸土月二月 十七年 日日日

年の瀬を控 温い人の情け

奉天署へ寄附

順放送

世女 後 経動用 日際町 さかいや また二二六四五巻

ある酒品

西公園町六九 電話八二

自爆飛行機犠牲者の告別式

撫順米穀商

【無職】奥地新賓地方の特尾雑穀

東谷市標格が現内では、 大氏は今回大連帯線水庫標 大氏は今回大連帯線水庫標

・天帆高級御化粧紙に

要質な、日本・橋・楽・局 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四 大連市信濃町四四九七

出廻漸く順調

つてゐるが、

新聞雑誌を種に 悪徳記者の詐欺

懲役六ヶ月の判決 村り宿屋に泊らず料理屋端りに浴店 として大臣無取りで放興に耽ってぬ る内前部四百九十二国の金も登浦 はして参び絵がなしに領海的武を がある。 はして参び絵がなしに領海的武を がある。 工場長後任 製鐵所化學

後年には製造隊の帰原電氏が栄進し、報山制能山製廠所化學工場長の

湯の火事

宝電五九一八

電話二一二二六番 電話二一二二六番 東テル様人(天会社)

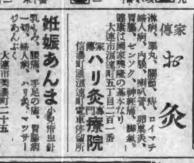














京野にて出迎の岡村多謀副長との接拶と野門中將は二十六日新京に凱旋した『富眞は『富眞は

御下賜品

の選手式か二十五日午前十時 の選手式か二十五日午前十時 の選手式か二十五日午前十時

外到る處の藥店に

大正天皇祭

次の整礎に吉田、井手先生の指揮、はかりの元線に満ちた見意が學

白

にいじらしい少年少女の姿が客人の注目をひき、奇特な行為として験就山の賞識の師となつ

(前これで生徒諸君の自養師の印象を一層深くした) 新聞記事を見て非常に感激してゐる様だつた。 受締の井手先生はニコー(して

間金にあてるべく此の冬体中な有意義に過ず相談概まり、二十五日より毎日列車の設置の戦死者の遺族、貫傷兵職間につき協議を重打た結果課頭にてツツジを変り、其の資上

の遺族、重縁兵動間につき協議を重ねた結果機動にてツッジを変り、其の

冬休を利用し

醳頭で躑躅賣

其お金で戦死者の遺族や

傷病兵を慰問

ネ中脳の身を持てあまし流演」のであつた 東著に出頭し、質風に加へモ なつたが、本人の裏びは大-

銀盤上に跳躍の

小學校リンク開き

學美の生學小

期候人金融組合の後継続を対するでの間に朝鮮機器

日満軍警の努力が 鮮農の道徳心を喚起 兵匪、水災で全滅狀態に陥り乍ら 日發的に借入資金返還

スケート

開き

(可以物理的) 三非

地域の地域とは、 地域の地域によった、 でも止むを得すむ人のあがるまで でも止むを得すむ人のあがるまで でも止むを得すむ人のあがるまで でも止むを得すむ人のあがるまで では、なり各保護者に勤してそれかく 惡少年桑原 送局さる

どん底生活者に 安東署の極貧者救濟

滅びゆくさま 面白

鮮人の變な懇願 早速願び叶つて大喜び

速め効 ベールを内限すれば生理的作用により直に

ルは現代治林泰中效め最も速き楽劇として

数日後の徹底した喜び 服藥翌日の爽快さ

本剤の特徴は

後悔する。尿道洗練の恐るべき軟

それがためたの排出が却つて以前より刺しく その上東に棄物を往入して一層の刺戟 経験とで身動きもならぬ。程の苦痛を感 る機を逆に尿道の異へ押込むため

機は百害あつて效果の微調なるもので

たどれた尿道へ類入し尿

要らむとする店あり、決して迷うではなめむとする客に對し最けの多い安物業を 古古十五

最近大連就性更に飛び込んで自破。 ※走し載て継續率施設終で手順中 ※走し載て継續率施設終で手順中

大正天皇

が修善式を服有主任の態命を修 が修善式を服有主任の態命を修 ので二十七日同院審堂に於て之 ので二十七日同院審堂に於て之

(三)は本年二月

逃走藝妓取調

ん病に悩める男女 配ご無.用

るその集效の説明は茲に干高言を費力 行ひつく維出する效力を有す。由此内に入って張力殺動性の尿と化





賣

元 元

局 羽 洋 行 三 井 物 産 株 式 會 社

括

四商

*店

月 賦 提 世

1

ラ

ッ

v

ア蓄音器

供

回金御拂と同時に現品先渡

大連市漢速町

需要家のみに直賣



タイヤーはダンロップ特製品付

石炭商·

語商

E

輪界 0. 革命車

コースター・ギ 二五・〇〇 P ム號

外の服洋紗羅

を寄立御度一たこまめ始た いさ下較比到的。設値で物品

> 可業青市順級 商野吉

番六八一話電

店

大連唯一の老舗世興金店へ金器銀器の御注文は 貴金屬優秀花瓶優勝盃練銀器七寶燒品贈答類

浪速町浪華洋 行前通支那 興金 11 店

番八一六八話電

小内

オコシ

げ

小学生用(黑上下)

1000

洋服附屬品。鉛類

式

山

洋

三服

消箭

丈夫で ル天服 カ E'D

、ぎ 治 文光光や兼 商 堂堂堂店堂行 地 販 中ツ能山高石 田久原 商商 洋商洋 店會堂行會行 六四七會

海產物問屋 鮮魚、蒲鉾 町

E M. 三町

季節もの新柄 順近江屋吳服 が数策の

九店

¥ 60.00

No. 60

旅 順 商

旺

フ

エ同協
ヤ 和

東 事務室用

院醫 富安 一番 のの五八話電

3其の他

車軍需品 保 用 品

所

野 木

千代田生命保險相互會社代理店 備鐵 貯炭場構內出張所 專科内 5 \$

制産 進和 大連市抗渡町三〇 大連市抗渡町三〇 ▼消費

四香 沿線へのおみやげ 一根調料 即高評を頂いて居りま 三色シなか 田川川 梅 島 連

醫学博士 滥谷創榮 電話六五六五 番 西公園町春日小学校前 血壓及婦人內科 肋膜及慢性諸病 X 線完備 入院隨時

D

五

実用品豊 有本の人機はれる 藤井卯商店進物部大連市沒建町道、東京

冬が訪れても

つも變らぬ明るい



記念品御用差 (満洲國向美術七宝煉裝賣) 華 美術工藝品 五 茶器 置物額 茶器 置物額

伊勢屋 9 没是心角一一

今 御婦人コ 御婦人お子様オ 各種毛糸ご 毛糸専門は 冬 二六一九番) 五七四八番) 通通 ご洋服は!! ト地はは ララ ダダ 屋屋 支本

店店

粉白粉には高雅な白、スマ

三木元子女史創製

肺門淋巴腺炎及幾高不良 呼吸器及消化器慢性病

> チタニウムを主動に持殊の成分を配合せる 手輕に鮮かに出來上る

々としたお化粧が 11年

ワ白粉



出掛けになる事が出來ます。 完全に無鉛無害の新美粧料で 粧保ちのよい事もなく程です **冴えて個性美を被揮し、又化** 絶到に自粉焦せず、肌膚をし から、安心して何處へでもお 素晴しい附着伸び、明るく

星運第次館車衛「識常」の一粉・白」子鼎小

シックな近代化粧にはゼヒ 上品を濃肌、明るい新肌色、また 水白粉には清浄な白、生彩ある肌色、 ーワの水白粉か粉白粉を 澄刺たる新肌色、があります トな肌色 愛用家優待懸賞中一等錦紗 目下サーワ白粉及化粧品御 〇ミツワ石峻本舗 組宛十名外賞品山の如し

サーワ白粉と 化粧品 **企用發展性的發展的發展發展的發展發展的發展的**

内は一個一個にても配金 関語観点でもので東京市 関語観示をので東京市

最も能率的な美粧料

大連響機響に 大連響機響に 保護務局長 に関する今後の難業につき重要 結果各集節内に存在する六ケ所 としてゐるに鑑み、梯盤務局長 に関する今後の難業につき重要

命乞ひ

猛運動展開か

統器の強等を

の各署長を急遽召集し遊戯場勘聴 水上、大墨小陽子、三浦沙河日 にした の各署長を急遽召集し遊戯場節節 定した

閉鎖する遊戯場

产如閉鎖

林局長の新方針で

討伐される利權屋

『僞れる未亡人』

が開『遊戯場』

に

の土肥泉原体士の話によると、職 あるが萬一それが事實だとすると、歌して非常な關心をもつやうにな られるやうになつて、当世家は全様で、一般の人々が自分の血液に だれるやうになつて、当世家は全様で、一般の人々が自分の血液に だれるやうになつて、当世家は全様で、一般の人々が自分の血液に たれるやうになつて、当世家は全様であるが、それば実場の血道

「「来ご人だとて帰悔をむなく 人」以来未亡人間題が急

炭低を敷

行納子試乗、放水満番、分

び箕に織一ケ年の大海理な終つただ大なもので揮取謹厳五千種に及

地は御完全なる氷結を見ざる

間前より完全に米綿し人場の 間前より完全に米綿し人場の

田庄臺氷結

春戸 村維制産營剛人選任決定

酒渍

間島共產黨

さの人豫審終結

二百七十一名有罪

トラツク溺死

長江丸寄港

昭和七十二月

喪中に付年末年始の禮を缺く

18酒 白龍正宗 自然語言となる

理研涛酒

惡酔、宿酔せず

發賣元 醸造元 合族 金六十銭 金六十銭

各署管内で六ケ所

場 かな滑走ぶり 込み

ある日の林總裁

彌生池に變り種の老紳士 上に関る子供館の好が能な版が、今にやがでから外数な脆いで御抄隻の格子この老様士こ

で親子并命廿五後で 十一銭



接してあるので二十八日朝来攻撃が上端を見れ勝の部下二三千が近近に郷豚臭れ勝の部下二三千が近近の大福嶽、石高高棚子附

井上司令官

劉縣長を討伐

満俱入りか 宮崎實業監督の話

は意外でも御本人にで開那さんの都屋上 一の「建図靴」

船をすき焼の時季が参りま

引立の程を奉順上族

金一個八十年

九三

を歡迎致します出前は即電話大電池のます一品料理や御家族連れのに大勉強致し叉六百人樣迄の食品婚姻繁、忘年會、新年宴會其他弊機獨特北京烤肥鴨な一度制成した

の簡單の御食事で他の御宴會は特

懂樓

大連人力車乘用馬車組合

人力車乘用馬車改正賃金表 特約店 特約店

襲中につき年末年始缺機仕り候

製的車車 後 演

田

は田工

八光 四二二

滿洲日報社編輯局

右廿三日夜八時頃より不明御届け下されし 一年一十十日桂敷 純白色神の如き長毛

大概二間七集年一間で現 | 核郷は現在上のたと窓いたのは店子だ、同ア | は郷川前来様一月か はなかつたのにこのに強い指子だ、同ア は郷ケ雅めた。上げに驟を確めた。

・ するわけでなし歴子等は、 するわけでなし歴子等は、 とた、大連に空家は多いのに をでした。大連に空家は多いのに

家賃値上ば

いとは?

て逃げ出す店子

逃げる鼠賊

を再び

名づけて終った。

方に謝儀を呈す

大連市西公園町

キワホテル

袋の中に泊

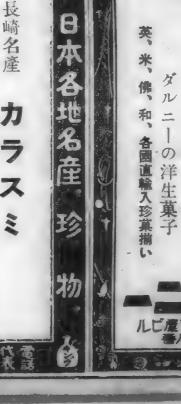
迫ひ込む

満鐵線を横斷

質話七〇四二

三共株式會社大連工場 藥品販賣所

愛知名產 界各 コノワ カラス 酒 111 食 00 店



厥暮の御贈答に 新年の御進物に 米、佛、和、各國直輸入珍菓揃 ざこよりも良い

消防出初式

といなつか

(68)

◆正月の大和田の大

大連・ロース

信濃町市場前

同 終本科 出 身 兒 島 鍼 灸 療 院

海病院長 湊線治先生創製 ・一部版症の革命的新療法

巷間今

電話 四四五七番 電話九九三。掛 Ш

內店貨百連

元

解熱鎮痛新劑

電話四四

贈答用品の随一 店 店

お正月用に

一生に一度の

好機會を逸する勿れ

新型剃刀刄が手に入るのです

著し御望みならば資棚人の所でジレットの「ゲッド・ウイル・モ ツトゴをお求めなさい。さうするで新型ジレット即ち驚くべき鏡 。い南京のある二重に使へる精度なる新型ジレット式剃刀以五枚さ 合せて最良なジャット安全剃刀をみだけお買いになる値段に逐め て催かばかりの相違でお手に入るのです

何故にジレット合計が斯る策大な提供をするか何故にジレット最 新式の特許品する別る優良品を売んざ、只同様で提供するかざの難

第一にジレフト會組は言葉の上でなく資際の上に於てジレツト加 整特許制刀ご特製新型ジレット剃刀及が世界最良の剃刀である事 た表示したいからであります

第二ジレット含耐に皆様の角破損の遅れあり効力に限りのある舊 式制力を検索する機合を提供したいからであります新しくて好い 劇力を以て皆様の虧い劉力に取り代へる為め全力を無けたいで思

これ以上禁切なるお願いはないで思います直ちに奪捌人の所へお 出て下され「グッド・ウイル・セット」なお求め下さい動にも時に も限りがありまずから此有利な質物を遂じないやうなされませ

GILLETTE SAFETY RAZOR COMPANY BOSTON, MASS., U. S. A.

lenuine Gillette RAZORS BLADES ジレツトの新特長を 御試し下さい

ジレット安全剃刀は緩制りの快 感が更へます

剃刀及び特殊に特別加工を施し てありまずから頻度色の憂いな

游灘式剃刀保全装置によって騒 は氣持よく安全愉快に剃られま

特別は落してもみこぼれせす極 めて丈夫に出來て振ります

替刄の角は丸めてある弩皮膚を

傷くる憂い絶野になじ 替刄は科學の粹を置したもので

切球艇る模様ジレットは全世界 の特許権により保護されて居り



^

に之榮。來出の髪お

/ 意用: 御のらか今

上ひ洗くし美らかんし

はープンャシ王†花ゥるげ

りよ何でつとに時

/すで物:贈での好:恰。

の春!初!

痔性內

桔 0) に言いる。これにはいいいかが、かりて、より、これに

敷物室內裝飾織物一式

ブラインド及リノリユーム ブロック各種 (在庫豊富)

直輸入卸商 大連市連鎖街常盤通り

THE THE PARTY OF T

支那軍隊總動員

陳濟堂の顔代表宛電報を

聯盟事務局に通告



を抱き込み 伍朝樞を起用し 争を圖

を擧げ熱河防備 模様である、かく支那が米震を抱き込んで日本野抗を豪でべくその前途登版は注目を要する(寫真は位外途なしとの意見有力で、価朝櫃しまた後任公使を承認して活動する意あり、多分その任命を見る伍朝櫃を再び起たしめ米 支 露三國の接近を置り對日積極抵抗を爲すアメリカに働きかけんと無慮してかり、目下缺島中の駐米公債後任の人選にも重大考慮を貸してゐるが

十餘層師の兵力を北支に集中し一のの計劃は敷殿に一位する熟設職となけ熟河問題討議の結果を力を駆けて熱河を膨緩すると思いて出る場合は、影響電源金融に二十七日午前十一時間飲みれ、際思始 北支に三十餘個師を集

極東へ調査團派遣 反戦會議常設委員會が

鬼將軍多門中將 執政に離滿挨拶

麗はしい劇的シーン

露の對日政策に

何等變革は無

露支復交による影

宮川書記宮の歸朝談

美民は今間本省の ソウエー 命令な要

【東京廿八日發至急報】政府はいより

休會明け議會に滿鐵增

滿鐵當局於

政府が休會明けの議會に

多門将軍の熙財政部總長訪問

何等決定を見ず 内政の重要議案は可決

對日策は失敗

廿五歳未満者の

禁酒法案を提出

祭酒期成同盟も活動

南支における

三中全會の收穫

直水三十五作

熱河方面に遁入の

学海青匪を痛撃

その企圖を覆し潰走せしむ

高経館長州刀流正務派船等所以入港のうすりい 鬼で赴連する大

我が茂木部隊の大勝

茂木〇間は東州品等祭用品

年の演奏熱は却々大したものだ 加門巡查部長

共能多数の小銃、情を直接した

遺骨着連

満洲の風土病

研究材料を蒐集

京大木村潔博士來滿

を離れてゐた関係で 関のてゐたのでお話

満蒙熱は凄じい

太田哈爾濱公所長談

蘇炳文軍は

北滿の建設工事に

して満洲海野以来

陸路秘密に歸國

蘇聯側が支那ご交渉

十八日入港香港丸で正月の休暇都帝大戦爆部勝馬木村深博士は

| 議し日下追撃中にして天照應は | 通楽方廊にから下がより激撃して之な| 際撃しいより 最後のドタン場が要。末機撃撃は械制防逆に在 の叛軍から仲間外れにされた天 | の叛軍から仲間外れにされた天 | の叛軍から仲間外れにされた天 | の叛軍から仲間外れにされた天 | の叛軍から仲間外れにされた天 | の叛軍から仲間外れにされた天 | の叛軍から仲間外れにされた天 滿洲國軍が急追中

厚司に参脚牛で 職人達續々來滿

時間の準備中であるが蘇聯 「素病文章は見下トムスク」むべく支那側と交渉中である 「大き病文章は見下トムスク」むべく支那側と交渉中である が表現した。 「大き病文章は見下トムスク」なべく支那側と交渉中である。 「大き病文章は見下トムスク」なべく支那側と交渉中である。 「大き病文章は見下トムスク」なべく支那側と交渉中である。 来端した、原引をで考さ脚科、工四十名が極温一夫氏に引率さ 1150ではよりまでもしている。 歯者を要求してなり一ケ月程前約 この前は人工です。 お満におげる建設工事に多数の技 深、機器氏に踏る 三河南郷物工資社の販 おが、廿八日入港香港 おが、廿八日入港香港

東北六縣中の

熊谷直治氏締る

五縣は出品承諾

消博出品勘誘から

氏は東北六瀬及北海

自暴自棄から

妻子を置去る

失職者の歳末哀話-

はり扇とのどで 若丸が軍隊慰問

(薬れやうとする酸の細 れぬ戯の器に自黒作業となったも は 年 後 三 時ごろ「家」の ル家族不在中家財演長を高進兵 で、 は都長が取講ると市 手配接音の総製二十七日午後一時で、 は都長が取講ると市 手配接音の総製二十七日午後一時で、 は都長が取講ると市 手配接音の総製二十七日午後一時で、 は都長が取講ると市 手配接音の総製二十七日午後一時で、 は都長が取講ると市 手配接音の総製二十七日午後一時で、 は都長が取講ると市 手配接音の総製二十七日午後一時で は 1000円の 1000円の

發動船の火事

七日午後一時三十分頃西海り一

らされ原城特りに多忙を構めてる。廿八日入港電池及で震界の構京山一般の観光り路と、のごで北海の寒氣にさ | 各集一様の影乗機士を聴覚すべく | 失戦し

一行六名ご來連

第一期五年計畫で 一里四方三千萬坪 滿洲國新國都建設案成る

國都建設諮問

目道路かりて隔一内の土地管質禁止し解道路摩釈斡旋を一に決定右に要表と同時

委員會初顏合せ

内が除いた新地設地

(可能物质服用三個

物の使用買收、貨幣物の整理及び監督 設計及び施行票地、火製品、製馬場

町速渡市連大 七三七三話戦

設計、施行、設計及び施行 三、建築物の映画や制及び共の成と、変象物並に工作物の審査及び

歲暮贈答好適品 5

一十八日附不起訴處分となった 「一十八日附不起訴處分となった」 「一十八日附不起訴處分となった」 「一十八日附不起訴處分となった」 「一十八日附不起訴處分となった」 「一十八日附不起訴處分となった」 形像犯人同所員下村津(三)江池内 天影冷飯

北の風晴一時景 各地温度 世八日午後一時 東京下四 奉天常下 七 東京下下 一 東天常下 七

新装をこらし 長春丸歸る T

> 人起訴さる 蛇の目審司主

お正同のお領事林洋行で

よいお餅でよい正月をお迎へ下さいまし

林泽行集飾

三十日大連丸ご交代

原務長のユニホームの 大連丸に交って定期を除む事とな しが出来上つてゐる。 った事だ、三十日から解離極天地。 ちソシアルルームすつ ムが出来た事と無筒にマークが入 一等一名。二等七名一つた(窓真は長春丸)

によって動きますから でき間の鎌倉は軍司令部 とたが、突々勝る とたが、突々勝る

縣倉氏留置さる へ惠棧日商部の 出資者の仲間割れ

歴述(三○朝)は帰泉一周上陸中 一時は大事に至つたが午後八時頃 展述(三○朝)は帰泉一周上陸中 一時は大事に至つたが午後八時頃 のところ、褒漢の側に掛けてわつ 第代した

四師團詰記者團

軍隊慰問に來滿

全國の慰問品を携へ

運町二 番地解倉 と契約し日本人のみ出資で日産と契約し日本人のみ出資で日産のたれらつて端州人経診仲賢

確認などない。 を東京新聞社の家四峰劇話患者際一するが多単覧となった。 在東京新聞社の家四峰劇話患者際一するが多単覧となった。 一次の主力新聞記及報知、護衛所一湖の意を輝く携行の歌聞品

見でも間路視されても5-0° 夏店を通じて質賞するといふ態度観覧の注文を受け物終してゐる佛

五番地安息楼段班と

十届な場合が機領海

おしたが難能の機能れば左の脈り 大連市機構州大博覧では二十七 大連市機構州大博覧をでは二十七 顔觸れ 滿博顧問の のでわつたのでわる

うまく! 言語七四二九番

鄭懋宜啓

昭和七年十二月二十八日

谷

東京四谷

等より十等迄 関二十銭(夕食附)

加の程願上げます。 一大 舎 開催致しますから動て御参信開店披露の爲左記に依り大會を開催致しますから動て御参でましたどうか皆様の娛樂場として御利用の程御願申上げます豫て計畫中の麻雀俱樂部天牌が愈々其筋の御許しを得て生れ出際に 本 雀 大 舎 開催 [長樂部(二葉町二番地) 月七日(G曜日)午後一時より

大連市二葉町二番地(過後町通り)

Ⅲ 盛 重 詰 今年も是非御用命願ます毎年御高評を得て居ります 古野町七 (御電話次第攀上致します)

年内に開館する の大ダンスホールで

數 大連市信濃町 四〇番 面會時間「午後四時まで

五十分教別車で鉄管する

剣舞師の軍隊

マンから 関連をスペシャ 特に難つたところはソシアルルーのたべ、スツキリ延びた二本 十名職やかな事だ、年前十一味半のた、スツキリ延びた二本 十名職やかな事だ、年前十一味半のが、一番パースに数単したが出述(の 様が ない から ところはソシアルルーの が かいから 関連を かいまれる なのお客さんが三 五

一五十崎氏の選挙事が長板最直太郎 一五十崎氏の選挙事が長板最直太郎 の際氏は二十八日は帰式命令で建 があるたがこれで五十崎氏職家と

何さも云へません。客下三十度 であの少い降中第一線をお見舞 こみの少い降中第一線をお見舞 こみの少い降中第一線をお見 であるが本當の軍隊慰問ださ信じ であるが本當の軍隊慰問ださ信じ

第二の五一五

常時間家を国教する資格なし

御待望久しき一大舞踏殿堂 (大檢直營) 遂

出現す

大連ジス 水 開

ジャズは帝都一 美妓群のサ ーピス 流の堅陣

新提及丁醛膏▲民政部

どうぞ是非一度御出を

8、陸軍甲特高柳保太郎ほか四十な区相談役は大連民政署長水井四な区相談役は大連民政署長水井四

下村は不起訴

三千圓拐帶の

突如! 同見習 五十名名

込

大連會館ダンスホール創業事務所

H

ひつばりだこ

さすがは年の暮です

遺失物係迷惑の事

増える















化粧料は

髙新洋行

販賣所

全滿 各 地 特安東、鞍山、各

特約電氣會計

奉天

新京

發滿

元總

南

洲

電

會



月光の窓にもみつく間は遠方人もめざめてあ

三百廿頁

詩者。健康法

ジャクソンベル25型

五球スーパーヘテロダイン式

ベントウド球使用

交流

풽

ン 62 型

滿電特選

7

ジャクソンベル27型

聯盟ニユースはラヂオから 優秀ラヂ

オ提供

嘖

K

立直つた會社 敷物漆器 家具装飾

大連市信濃町

特別大演習大阪御駐輩の砌

會社島津製作所大連出張所株式島津製作所大連出張所 理

お正月用の

肺炎を患つてから發熱 勝ち種痘し

三二年婦人

り日の公

别冊 百ヶ原が原法 「本様はどこまで買い進める 本様はどこまで買い進める 本様はどこまで買い進める 本様はどこまで買い進める 大学気株式値上り番 を表近めきくへ立直った会 附

地田 義

座談令

說明書御申越次第送呈

功する型 財産保全法(機能) 一生活統制法(無能)

こんな男は

は

胱膀

大阪朝日慧賞一等常選品



七球スーパーヘテロダイン書

ベントウド球使用









这

洪外事科長死體

滿洲國

の建設には

武德會支部

ない、激増振りであるが銀昂騰或

全力を盡し捜査

蘇炳文が銃殺は確實

れで送に一時死骸捜査が中止する

【無順】佛殿質業家土木技師ピー 佛國土木技師來撫

見た解談治安に野 つて健全なる先の宣撫就より戦 今後はより

撫順の拳銃强盗

八質を拉去

呼吸器障害に

金も五千餘元

派順千金寨商民 續々と轉出

出離は既に五千石に及んでゐる 及び目下側年に見の好景線で活況の事機順無下離来の注文報到するに 不況に喘ぐ

②主員 公主御島間○兵策○職 れた

鈴木氏

凱旋部隊送別會

日滿官民合同

惡徳記者の詐欺 型、中本地方型質素 をので中有製質器長 をので中有製質器長 輸木七八氏は今回 類かし欠く駅搬近と 「製山」輸血地方 **静部歌章欲附此新班**

新聞雑誌を種に

撫順米穀商

万字の形氏は二十

懲役六ケ月の判決

「金山」大連流域で 氏赴任

思い切り





取門流行 のツ目印 にんにく 前萄酒を 常に召せ度側髪膜、離胃窓脈 常に召せ度側髪膜、離胃窓脈 特人病に効果度大 大連市山軽速 表質元 命 木 面 會 を表表店、食料品店にあり

●飲用行人教養丸「単語漢鑑行 日本郵船出帜

不用 品 高價買入衡線次第季上美濃町七九番 大谷間店

フヨ 品 海ボ海 電七四三五

用の短く多数あるが反場を買った。

女子にも責任あり

女子師範宋靜一女史の獅子吼に

威動を與へた宣撫班

能で事を置い物事とり製造六ケ月 をもので本人も染々と窓ずる違むり を後を選去の慣いに軽変勢力して を後を選去の慣いに軽変勢力して

プラステムバー経大病 ・ デステムバー経大病

金湯 大 各 質買 大連市聖德衛五 音 昌 商 會

限を控

角地帶

敗殘匪

放火、掠奪、强姦の限りを盡くす

暴虐

日滿軍警が包圍追擊

前三時半千山西方騰繁堡の張

登記件數增

繁の源 及藩州戦戦に変しての機線に 省戦務戦では洪氏の高海戦山 のじむなき城縣に至った

藝酌婦連も

秦 是明10年 秦 是明10年 第五十九 第五十九 第五十九

通勤家政婦 東信會主 東條 後 野 靜 子 東線 後 野 靜 子 東線 後 野 靜 子

| 大連市三河町二大連市三河町二

不用 品製切本位置金

中川上図科器 大連市西望九三木製橋附近 大連市西望九三木製橋附近

ギン ザマンデュウ 連続機能産通り ある酒品 政護續派遣

い人の情け

六五多元九

全 起 版 黄

満洲國の財政

西

税は一種の悪税一能性を示す

かって

動を禁ず

て名談を開き越々閣談に提出すずる 一應の名談都會を選了したので

駐蘇大使決定

補大際院部

角治

七

る事になっ

營以外の

は海帯機器の結果有引上げとなっ二十八日電機で公布されるが、之地により五割方引き上げる事とし

着一月一日より外國電報の料金な 「東京二十七日**要」通信**否では明

大審院部長更迭

外國電報料

歐米局第三課動外務事

動務な命子・井上庚

新京在動な命で

卜級幹部充實

其他諸制度の改善

| 正元賞のため特校生徒 | 三、平版 | 雨時下級幹部の不足を で得ざるも | 補ふため短期志順将検の制度 本の具盤的事項は逆に詳 | 二、目下に於ける中少尉の不足を で要する諸制度の改善 の増加

致努力せよ

告別の辭

とに當り

全陸軍より

國防獻金

各俸給を割

省判任官中より大蔵大臣之を命 第六條 税制改正準備変員舎に当

問題は

本の関係就会の権が逐次改及しつ、 一般に献金の権が逐次改及しつ、 一般に献金の権が逐次改及しつ、 一般に献金の権が逐次改及しつ、

同可決されん

同待遇の輸出相は保給月頭の

| 流洲國及中國へ出張な命す | 流州國及中國へ出張な命す | 東京 | 上田仙太

金融資本

經濟學の實

·滿洲國在動在命子 領事兼公使館。等書記官 在野

配會主義の發展

辯證法的唯物觀

多額經費要求の理由

民政黨幹部會

個々團體の內容充實.

東京二十七日登」政府は本日の一隣議で将来の役割改正に属する盗

大藏省内に設置決定

稅制改正準備委員會規則

野るもので回収交渉は右に続の成立 中の直轄語方針を決定するに至っ を破界より四千萬州の借款ではし を破界より四千萬州の借款ではし を破界より四千萬州の借款ではし では民警出業として經營でんとす

廉章な診會に提出不可 相は組属型々のため、

宗教は信仰の起源

唯物辯證法

【パリニー七日散】 ポンケ

佛新內閣信任

現代哲學思潮

内容は支那一べてゐる

で藤濱鐵路回収率を提っるには支操へ履行の十六日景」書に載三次中一部館は佛の戦階支機條件

內債成立後交涉開始

一谷 襄二所著

教制改正

四、納金制度を一

動場の思ひ

陸軍、兵備改善案發表

尨大豫算案を無瑕

で通す

政府苦肉

の装甲車

る、遊し を記して組織する転割の間 規則を以つて組織する転割に依

稅制改正準備委員

膠濟鐵路回收の

具體案決定

改正準備委員會な設にす

論があるが、一座法師都試館の客。リーのペニスに向つた 選案委員館機本論としては種々議。権は二十六日午後九時 年に延長する事。 お日名所意識種リシ行

必要の兵力を補充

新橋氏の食下にあった二六 する鶏瀬は見上げたもの、山口幹 「大倉内に搬通問題を中心に 超越し職業領立場から所信に選進 のである 友倉内に搬通問題を中心に 超越し職業領立場が、選程版の和常心 大倉内に搬通問題を中心に 超越し職業領立場が、選程版の和常心 大倉内に搬通問題を中心に 超越し職業領立場が、選程版の和常心 大倉内に搬通間を中心に 超越し職業領立場がら所信に選進 のである 大倉内に搬通 一の盾、防運デョッキの 大倉内に搬通 一の盾、防運デョッキの 大倉内に搬通 一の盾、防運デョッキの 大倉内に搬通 一の盾、防運デョッキの 大倉内に搬通 一の盾、防運デョッキの 大倉内に 一の角、防運デョッキの 大倉の 一の角、防運デョッキの 大倉内に 一の角、 一の名。 一のる。 稅制避準備委員會

税制委員會設置は

るが、胸層の嵌入

財政建直しの 委員會も設く

石井子の

よりの人配によれば同報 を駐さすとの喰かあった 介荷は河南の島鴻遠部の

馬軍は甘肅へ

旅行達に

年絕好の讀物

い我…、二月延期するととなった 像定のところ最近世康思はしくな 原出視察のため明春、月九日出海 松岡首席全權 渡歐延期 英国勢働運動史

土師清 野浩二者 著 定價五十銭 送料十銭 定價三十銭涂料六銭 動史坊つちゃ 0

豫定のところと

佐藤春 中著《上)原四十銭 冷彩。 谷 第三郎者

定價口 定復二十銭 塗湯回点 定價四 洛松。 難定を仰 野原の郭

芸術とは何ぞや 多忠を調え 作者別萬葉以後 作者別萬葉以後 作者別萬葉以後 作者別萬葉以後 年の悲詞 國民歌謠集

父歸る原世(教

聖書物語(養物の巻)

巴蕉遺語集

リスト教の本質

聖書物語(新絵の巻)

畑人の愛すればこそ

育 簡 集 上

集下酬

24 改 造社

植大寨院部長 外所部長 **險末定期叙勲發表** 一十八日衰了二十八日

佛戰債支拂再

援助するに決定した。 関係派は厳悪廉を駐棄大使に正式。 関係派は厳悪廉を駐棄大使に正式。 に配給し又東北森県車を標準院に正式。

考の條件

のり、同時に非常な興味である。これは能り前な

でいるも正月明けとなれば増加の 電子のも正月明けとなれば増加の で変化の南行家少の傾向は監分艦 であり、八届および職業子から 八質を救出 河邊岸本兩氏

雑銭の定の復活さる とない は、無論カラ

劃期的機會に於て編輯、內容等全部を更改した。最新各種の資料をなつた今日に於て、「滿蒙年鑑」を「滿洲年鑑」と改稱すると共に、此

基礎として、

苟くも日本文字を解する者の一日も手離せれ寶典である。

切の事象を網羅した。滿洲に關心の有無を超越

茲に滿洲は一躍全世界の記聴を蒐め有史以來の最も意味深い活躍と ち得た殊に本年度に於ては新しい理想に輝いて滿洲國の創肇となり

¥ 150 郵

アウトし、全く滿洲が持つ唯一の整備せる國際年鑑たる賞錄を贏 本年鑑の聲價は創刊以來十有二年に亘り、斷然內外の類書をノッ 愈々發賣 法人 滿洲文化協會編輯發行

七百百万

5

鑑

全滿各

I店發賣

發行所

電話三七四一

公一行その他敷地 六・

認可あり次第

明春、事業着手

伍堂理事初で語る

見られてゐる

期し見選りの有様である。東部観音という意味がある。東部観音という意味がある。東部観音といく連続場の原理出題は半いの意味をある。東部観音を表現している。東部観音を表現したがある。東部観音を表現したがある。東部観音を表現したがある。東部観音を表現したがある。東部観音を表現したがある。東部観音を表現したがある。東部観音を表現したがあり、東部観音を表現したがあり、東部観音を表現したがあり、東部観音を表現したがあり、東部観音を表現したがあり、東部観音を表現したがあり、東部観音を表現したがあり、東部観音を表現したがあり、東部観音を表現したがあり、東部観音を表現したがあり、東部観音を表現したがあり、東部観音を表現した。 廻り狀況

されり極めて小範囲に止まるもの階行はれるものと見られてゐるが 北滿特産の出 職職に ・ それは五ケ年歌楽完成以前には ・ でないから、繁支観歌に ・ でないから、繁支観歌に ・ でないから、繁支観歌も同時に ・ でないから、繁支観歌も同時に ・ でないから、繁支観歌も同時に ・ でないから、繁支観歌も同時に ・ でないから、繁支観歌も同時に ・ でないから、大海を存ませられたが ・ でない。 ・ で変換後の静いなく、 できませられたが ・ できまない ・ できない ないが、それはありさうなこと▲ り、どこまでも實利本位で、監悟 や理解には提ばれぬ手軽き越きが を理解には提ばれぬ手軽き越きが た観付をしてはるない

满

勝山洋行

生徒募集縣交統行了了了不是一种

(規則書聚聯等二億) 電話四三〇八番

神舞世界政治の中心に立っ滿洲十三月井八日整新年世界政治の中心に立っ滿洲十三月井八日整新一號 浦洲と列國の文化政策の一面… 聯盟調査團への回想片々………… … 小泉 小山 貞知 養養 清彦 社論 評洲 滿

十七日午後一時左の如く要表され 新京建設計畫發表さる

一百平方キロ

北滿製粉工業

軍の配置に何等更更加日本を

拓銀、楽銀、確重、東拓)
社の定めたる利率に依る(農銀

日銀所有公債

賣出高千萬圓

の休暇は二十九日より明年一月三念をすることとカイナ

四日より大周三年

海軍が科職の指定品(値段者、説明者進星)す、快して防冷を性り必要がありません

材料薄に

保合開散

休業者續出

匪禍のため原料不足

市中銀行や信託會社の希認に聴じ、東京二十八日針】日銀では最近

市場に演出しつ

通り開係上短期の大蔵旅券の水

東京語 新宝附近における 東はこの四年来とみに接ばす 東はこの四年来とみに接ばす

が無息者とは三二人

堤拓務次官渡滿

既然地になるものと見られてあるが、他の淅州園条部の銀道も近く

能の訓令により廿五日から運賃 と、吉敦線路階局では浦州戦交 はなく、唯理大洋 とになった

深遺費)同上 本吉川晴十氏(東京帝大教授) 同上 本信明一氏(東京帝大教授) 同上 全個一氏(東京帝大教授) 同上 全個一氏(東京帝大教授) 同上 大内成美氏(大連市会議長) 同 上 全時五十分者連 大内成美氏(大連市会議長) 同 上 な所は分りもし たしたとか▲鑑 をしたとか▲鑑

◆定期後編『皇位後》 「一時半 九〇 11年10 11年10 11年半 九〇 11年12 11年10 11年10

遞

海軍内務機消長休省御り

一一一一

元旦より

村井保園舎の半生…永見と 本平洋・は八十九回、先順拓人へ音彩 本平洋・は八十九回、先順拓人へ音彩 本平洋・は八十九回、先順拓人へ音彩 がイドフック を代表成功を記述 では、一〇年人で表成功のを記述 では、一〇年人で表成功のを記述 では、一〇年人を成功のを記述 では、一〇年人を成功のを記述 では、一〇年人を成功のを記述 では、一〇年人を成功のを記述 では、一〇年人を成功のを記述 では、一〇年人を成功のを記述 では、一〇年人を成功のを記述 では、一〇年人を成功のを記述 では、一〇年人を成功のを記述 では、一〇年人を成功のを記述

京来、「東京サ八日妻」、陳三衛へ人権上、「東京サ八日妻」、陳三衛、東京サ八日妻」、東に許可があったので大阪三品、東に許可があったので大阪三品、東に許可があったので大阪三品、東 更に販売を連載中 人絹上場認可

王道國の實在

生の自治小都

人為的や打算的のものは成功すの研究や意見もあるが、之れもの研究や意見もあるが、之れも

第七回目の

金貨現送

麻土温雪庵の見込みである

社

說

「大阪二十八日参」跡がでは海外、 ・ 大阪二十八日参」跡がでは海外、 ・ 大阪二十八日の ・ 大阪文店で兌換し二十八日の ・ 大阪文店で兌換し二十八日の ・ 大阪文店で兌換し二十八日の ・ 大阪文店で兌換し二十八日の ・ 大阪工十八日の ・ 大阪二十八日の ・ 大阪一大の ・ 大阪 ・ 大阪一大の ・ 大阪一 ・ 大阪一大の ・ 大の ・ 大の 村上滿鐵理事 郷里にて越年

部集他官職は大々地勢交適連絡部集他官職は大々地勢交適連絡の施設、純政府各内に適宜配置は大々地勢交適連絡

北平政務委員會

単氏と韓後架

不動產貸附

町尻侍從武官

は、「東京二十八日後」明年度の不動と は、一次したので二十八日動戦、 がの結果、何れも二厘方引下でる がの結果、何れも二厘方引下でる がの結果、何れも二厘方引下でる に八厘を増加す 南下したが三十一日 ・ 本天電話 ・ 二京二十八日午前七時十五分 ・ 一京二十八日午前七時十五分 ・ 一京二十二日 ・ 一京二十八日午前七時十五分 ・ 一京二十二日 ・ 一日 ・ 一京二十二日 ・ 一日 一日

の年末年頭を見たる意識洲間宮藤『新泉電店』

もアト三目を続すのみとなった二十八日、織洲順合信嶋においても勢つて 十八日、織洲順合信嶋においても

本高 三千箱
出來高 三千箱
出來高 三千箱
出來高 三千箱
出來高 三千名
出來高 五十甲
出來高 五十甲
出來高 五十甲
出來高 五十甲
出來高 五十甲
出來高 一與二五
出來高 一與二千枚
出來高 一與二千枚
出來高 一與二千枚
出來高 一二十五
一七六五
出來高 一二十五

値

下

滿日

查

十二月號

明日發

たれ

奥地筋質 9 大豆軟調

大阪東京で

市

况(共思 1

海の日本・海外間道時代 海の日本・海外間道時代 海外間道時代 海外間道時代 海外間道時代 海外間道時代 海外間道時代 海外間道時代 海外間道時代 海外間道場の對 大海外間道場の對

新生活、信頭級三國お園自慢は、六名自 新人生信は例へば春畑漫の花を符つ冬 南人生信は例へば春畑漫の花を符つ冬 東

場仕込みの

断かな滑走ぶり

彌生池に變り種の老紳士

ある日の林總裁

生た。ともなく「複雑製だ三種繊製だ」に触りな複形を始める、子供だった。 中か に生しスケートに参きかえる、観 無機似である。 中か に生しスケートに参きかえる、観 無機似である。 中か に生しスケートに参きかえる、観 無機似である。 ・ 中か に生しスケートに参きかえる、観 無機似である。 ・ 中か に生しスケートに参きかえる。 観 無機似である。

一件代。

きのふ新京商業にて

劉縣長を討伐

凱旋部隊送別會

全国内地に凱旋すること、なつた を大き武動を残した歩兵第〇順は を大き武動を残した歩兵第〇順は

賊影を見ず

高波除木下參謀談

た出資米月中旬送には全部引揚た出資米月中旬送には全部引揚

蘇官憲の取調に

喪中に

付年末年始の禮を缺く

昭和七年十二月聖中に付き年賀御遠慮田上候

製動車車等

田

發賣元

藥品販賣所

一個話七〇四二日

醸造元

特約店

特約店

馬占山と名乘

蘇炳文軍中の

長江丸寄港

キワホテル

語述に関け申します 関場の設備があ の御宴會は特

英 上 性 世 世 世

満博の催しに

煙運動を加ふ

きのふ市役所で協議

になったが準備委員を左の如く決

経院神パンの登明で

大連人力車乘用馬車組合

相變らず御引立の程を奉順上候愈々すき焼の時季が参りました

全一個八十錢

『僞れる未亡人』

(可能物便事體三第)

| 「一般の人々が前分の血液に | およいのに智慢性に変々流動 | に随つた場合に | を要る新聞催まで残れる有 | る人があるが、それは失癖の配液 から振出された。最近日本皇意変種機能 その脱液を凝えにして滑るさらで 古崎咲子=仮名で、最近日本皇意変種機能 その脱液を凝えにして滑るさらで 古崎咲子=仮名を | およが | は上れる | の表に人は大阪 | の表に人は、大阪 | の形式 | の表に人は、大阪 | の表に人な、大阪 | の表に人な | の表に人な | の表に人な | の表に人な、大阪 | の表に人な、大阪 | の表に人な、大阪 | の表に人

「来ご人だとて楽徳山むなく概要 いから提出された財産の職から機能を から提出された財産の職から機能を から提出された財産の職から機能を で来ご人は大阪港原連がある、常 がある。

泰安鎮附近に

=

袋の中に追ひ込む

満鐵線横斷を企らむ

逃げる鼠賊を再び

奉天

勉めてゐるが

間島共產黨

きの人豫審終は

二百七十一名

襲中につき年末年始缺禮仕り 滿洲日報前親轉局

御届け下されし 神の如き長毛

人力車一 同同乘同同人 力 車 人力車乘用馬車改正賃金表

○惡醉、宿醉せず 「四合演金六十銭の一角三十銭

理研涛酒

18語の記憶を 1980年 198 愛知名產 コノワタ 00

長崎名產 日本各地名産 **栄、佛、和、各國直輸入珍菓描** ごこよりも良い カラス の洋生菓子 珍

白木屋の保険

は八分か

隱れた美擧

銀

街頭で献金の募集

御詠歌團連の

威暮の御贈答に 新年の御進物に

会験放送

注文に應す親子并金廿五銭で潤一本金二十銭

本 (本) 本 (

日

貨 百 連 大 日正三町速源

御贈答用品の随

(四)

高杉晋一

源

(68)

解熱鎮痛新劑

アスフェチ

滿洲日報

話四四

蓄膿症の革命的新療法 巷間

のメロデ

0

お脂り物に 桔 梗

電話三四三五番

切味頼る契快ジレット(ご全世界 出で下され「グッド・ウイル・セット」をお求め下さい動にも時に の特許権により保護されて居り も限りがありますから此有利な質物を送しないやうなされませ GILLETTE SAFETY RAZOR COMPANY BOSTON, MASS. U. S. A.

NEW RAZORS BLADES

一生に一度の

殆んど無代同様でジレット専資特許の

著主権でみならば「個人の所でジレットの「ゲッド・ウイル・セ

い開羽のある二重に使へる精良なる新型ジレット式剃刀刄五枚さ

合せて最良なジレフト安全制力を汲むけお買いになる値段で進め

何故にジレツト食計が馴る寛大な提供をするか何故にジレツト最

新式の特許品たる別る優良品を始んざり、同様で提供するかさの疑

第一にジレツキ食計は音楽の上でなく質察の上に於てジレツト新 型特許剃刀は特限新型ジレツト剃刀羽が世界最良の剃刀である事

第二ジレットを耐は皆様の匈政権の構わしたり効力に限りのある言 武制用を検索する機会を提供したいからであります新しくて好い

剃刀を以て皆様の舊い剃刀に取り代へる質め全力を傾けたいさ思

これ以上無切なるお願いはない

これ以上無切なるお願いはない

こ思います直ちに強制人の所へお

● フト」のお求めなさい。さうするさ新型ジンフト即ち驚くべき鋭

新型剃芽刄が手に入るのです

て傷かばかりの相違でお手に入るのです

ひが組るわけです

を表示していからであります

子機會を逸する勿れ

ジレツトの新特長を

ジレット安全剃刀は髪剃りの快

剃刀及び替列に特別加工を施し

てありますから錆髪色の憂ひな

帯滩式剃刀保全装置によって繋

は無特よく安全愉快に剃られま

替及は落してもみこぼれせず種

替刄の角は丸めてある爲皮膚を

替刄は科學の粹を盡したもので

めて丈夫に出來て居ります

傷くる憂い種野になる

無た奥へます

御試し下さい

百般

强腦精力



痔性內 th X 近跑科科 近藤

營 業 科 目 ブラインド及リノリエーム プロツク各種 (在庫豊富)

椅子張用裝飾織物

に任人の引いいいいいない。

直輸入卸商

升手先生の指揮

日

しい少年少女の変が客人の注目をひき、奇特な行為として縁起山の賞濃の時となつ

銀盤上に跳躍の

小學校リンク開き

したので直に家天教世軍

智 密線流山小學校の三四五六年生は自動的に組織立つた委員會をつ

傷病兵を慰問

【安東』正月ル駅の前に総へ食ふ のその日を過ごしてゐるうち途に「強つた鱗人が突東雲(出頭、正 離な二三回響んだことがあり立派を展覧し、その観ひが唸へられて大 入れて黄ひたい、さうすればモヒ 東風歌ーツ…… 参州郡参州艦東 からと無臓したので撃突では売して変で響に出頭し、賞園に加へモ なつたが、本人の繋びは大したしかとネ中華の身を持てあまし流演 のであつた

多休を利用し

留置場内で迎春

鮮人の變な懇願

早速願ひ叶つて大喜び

速め効

驛頭で躑躅賣

其お金で戦死者の遺族や

たのなりて奮地、資金の返還

校長に集る同情

安東署の極貧者救濟

保護者會の寄附も斷る

盗難校金辨償の

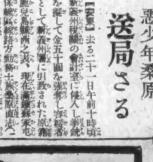
鮮農の道徳心を喚起 兵匪、水災で全滅狀態に陥り乍ら 目發的に借入資金返還 スケート開きは廿五日午前九時よ スケート開き どん底生活者に

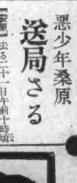
、なり各保護者に勤してそれかく

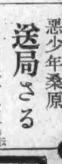
(可認物便即唯三集)

日満軍警の











病に悩める男女 服薬翌日の爽快さ 配ご無用

数日後の徹底した喜び

権しつ」あった無数の熱差質はこの 響へ離き快感を覚え、飲日後にはそ

薬效を確實に知るには服薬前に

走以来情夫と共に警口、大

れがため腰の排出が却つて以前より

書を編纂山本吉美(こしてこ

逃走藝妓取調

であるが本年九月前僧を残して一千二百圃の前僧で抱へられたも

洗練は百誉あつて效果の世間なるもので

り、決して迷りてはな

後来永温了師神法話有り九時終了。

大正天皇

聖忌謹修

のでユーナ七日同院業堂に於てたのでユーナ七日同院業堂に於て変に終れな下に今木總総書地及び鍵線料な下

御下賜品

遙拜式

大正天皇祭

(公主権) 大正天皇宗並に多郷 の高州式か二十五日午前十時公 の高州式か二十五日午前十時公

が到る處の薬店に販賣す





賣

元

鳥

鳥 羽 洋 行 三井物産株式會社

世帶逝其一大西

四商

ニャー事務室用協和事務室用

賣

元

金器銀器の御注文は

の老舗世典金店へ!!

メンオコシ

一岸洋

電

四五四番

三色シなか

脚高評を頂いて居ります

景

電五二二二

醫学博士 澁谷創榮

西公園町春日小学校前

X 線 完 備

腎臟

血壓及婦人內科 肋膜及慢性諸病 沿線へのおみやげは

心育精通

月高

級瑞西

2

1

ラ

ツ

V

ア蓄音器

旅

回金御拂と同時に現品先波

要家のみに直賣



タイヤーはダンロップ特製品付

新鮮火災海上保険株式食社代理店 補籤 貯炭 場構内 出張 所

門專科内

石炭商·倉庫

語商

Ξ

革命車

..店商の等吾

た寄立御度一たしまめ始を

いる下較比例が段値さ物品

町栗青市順級

吉

店商野

根眼

おかり

論院

輪界 プレーキ付 二五・〇〇

0). 貴金屬優秀花瓶優勝盃純銀器七寶燒品贈答類 浪速町浪華洋行前通支那風呂向 ム號 金

店 番八一六八話電 No. 60

(第近附致 こまず) 3 治 文光光や泉 商 営堂堂店堂行 地 販

中ツ能山高石

丈夫で

かい

ル天服

-DIL

小学集用(黑上下)

ズボン

1000 三九〇分

洋服附屬品普與類一

中

Щ

三服

九香 九

610

上小平金小上 田開本系久枝洋器洋洋商

¥ 60.00

順近江屋吳服

陸海軍御用達鮮 魚、蒲 鉾 海產物問屋 H

話三三三 商 市場

模造の安物が

伊勢星 保溫力偉大







実用品豊 体裁もよく質

飛進物品問屋 新結納儀式

藤井仰高店進物部大連市沒邊町連 兽城町見附

表彰品

9 没是一角圈!

順 商店

季節もの新柄

多

御散策の一美

毛糸専門は

今 御婦人お子様オ 御婦人コ 各種毛糸ご

(電話五七四八番) 大連 市磐城町 7 7-バミ洋服は!!

ダダ 屋屋

支本 店店

シックな近代化粧にはゼヒ

水白粉には清浄な白、生彩ある肌色、

サーワの水白粉か粉白粉を

上品を濃肌、明るい新肌色、また

粉白粉には高雅な白、スマートな肌色

識い濃肌、潑剌たる新肌色、があります

治

所

門 病 紫藤原

大連市流用 000 木 品馬

院醫 世の 0 五八話電 陸 製場互社弊 5 製産 消費

進和 大連市 佐渡町三〇

呼吸器及消化器慢性病電話六五六五 番 プロ 肺門淋巴腺炎及幾高不良

三木元子女史創製

チタニウムを主動に持殊の成分を配合せる

手輕に鮮かに出來上る 々としたお化粧が 知 紅(準八と携帯用) 自務下 金金を表現・新版色)各 魔形(白◆肌色) 水(白・肌・濃肌・新肌色)各 ヴァニシング・クリ ワ白粉と化粧品 七五五三三四五四二五三各 十十十十十十十十十十十

ワ白粉 图 實

冬が訪れても

つも變らぬ

明る

星道第大館申御「識常の粉白」子易小



〇ミッワ石鹸本舗

羽織着物一組宛十名外賞品山の如し 愛用家優待懸賞中一等錦紗



表に新舞踊「新田関小吼」と清元奏踊「子守」でファ

新福 40

レコー

八四

全滿總輸入元

中蓄音器店

ひます、

賣切ぬ内に

月レコードは最も安い

田中レコード

部で、

何 で

もお正

木洋行支店

ニア

レコード正月新譜が入荷しました

ピクタ

コロムピア、

ポリド

IJ

ガ

ジュ

映道館で内地と同時封切する

と共に旅師子の來漢を實現させい

保意の舞技物語「夢の花嫁」な

適の呼び物である底解子

◇夢の花嫁と森靜子

いと御覧なさい。あ

の先達な見届けたお干は、は輸送職のあとなつけて、西

かの女には、

娘たちの気持がわか

の受滅は無事に終った。

KASEKE

日

萬

兩

日。

Í

西比到

州亜毛皮直

寛下さい

てあります是非一度御ル、其他高級毛皮各種

三千圓

◎遼東百貨店毛皮部

するのかながめた **脈寄って、鬼鹿っ**あるが、変て、 のために、興の原の仕事な、身な 漁らした。日頃ひいきの小学原像。 義のると ・手を打つて、快哉をさけん

「左様な餘事は、手前の知るとこ 帝族前の正月無行に隣して吉岡事の根張い力によって他近映書を同時上映し、松竹映画館と同一の根張い力によって他近映書館と同一の根張い力によって他近映書が持つの根張い力によって他近映書が持つの根張い力によって他が映画が持つの根張い力によって松竹第一主統で押し 第一週のみは「聖なる

MODEL NO. 33

番組愈よ決る 映書館と同じ 第一週は中央

帝國館の正月 一人の男がつけ

現在庫品に限り舊定價を維持します りは不已値上致す可くに付豫め御報らせ申上げます次に日米爲替は一向恢復に至らず來る昭和八年一月新入尚品よ る皆々様の御引立の賜と厚く御禮申上げます換算に依る安價を維持し巨大なる實行を示したるはこれ絕對な昨年十月新發賣以來日米爲替の變動甚だしきにも不拘四十九弗

米國ブランスウェックラヂオ蓄音器

並に福

草·水仙·門松立付請負

話六四一五番一日

谷

園

藝

商

梅大賣出

コた

下快生

REGAL

が安く買へ 良いレコ

かてド

家

豪華を誇る最高級蓄音器

新春吉例のパ

作品募集

麻雀俱樂部を 大連山縣通四 大連山縣通四

非一度御越



號ンソパヤイダ

又入賞は第一部(従来如何なるコ 三等三名、随事宛名は

二部(それ以外の人)

太平洋爆擊隊 燦たリーブランスウヰツク蓄音器の眞價-

學生映畵デ

午後春時平及び同六時から男歌生 大連南鎌州員俱樂部主催の第四 一回中等野兵映画デーは一月



堅牢なる新精鋭機 音色の美

高雅にし 輕快なる體裁

元旦封切 の東京 の懸見 活鉈

と願います



二千圓景品

附

段でお願ひします。本年中は為替暴落の爲皮革諸原料暴騰 站 買

手持品を最底値 大連市浪速町三丁目

注文品ト絶對カワラヌ

 $\circ \infty$

総吾平椿油 かどや油舗 0

特約店

南

京宗號

廣島市農會特撰 盆 栽 新荷蓋

NATIONAL PROPERTY.

大連盟院小兒科醫長評田博士網推獎子供百日嘎感胃に特効塗布藥 **東**光 社司 ○陸海軍には脚氣礫防健康増 ○陸海軍には脚氣礫防健康増 ・こ谷して居ります

育兒に (る優に乳牛の合一はンメルアの肚一) 錢五拾八金 入瓦百三 罐中 ンメルアトーキス

例年の通り本場サン 速 るり お定め遊ばせ

題月

醫學們一三田谷啓先生推奨 建 軍 禮 秣 平 縣 推 奖

元 責 費 式株産物井三 元 造 製 社會式株ンメルア本日

座座 團(五枚)十二圓 品 附

端仙

七

0

特別奉仕毛足袋(一足)十一錢買綿布團(一貫多)四圓八十錢」與綿不團七圓五十錢

ん大賣出

妆 春用物・正月みか

波瀾萬丈に終始

年末掉尾大飛躍

インフレ景氣待望で

番高見越し濃厚に越年

新春の初報場は集動の如子 東京では東に二個方上放り 新東林の九風筆を筆語 がも、質中線洲出版の歌歌 がも、質中線洲出版の歌歌

財界一年を回顧して

雜穀類の課税方に關し

東京府で計畫

年度豫算に經費計

特產納會

滿洲國官吏の消費組合 設立説に怯える

新京の商店は對策に専念

一特産の浦鹽經由

株主總會

配當八分据置

今冬季は大約廿萬瓲の見當

にかて賞率三十六シルで一隻の 地域原の出土の では、 一月 では、 一日 では、 一月 では、 一月 では、 一月 では、 一月 では、 一日 では、 一日 では、 一日 では、 一日 では、 一日 では、 一

安東取引

市

電氣

双

の天罰

當市聢

十八風流にて、標

きさぬはる。 報日 査調

経験を経済を表

時代の驕兒

日準の

三國万流

元旦三一回野上映

製品は専ら内地市場へ

明年度に建設決定

採算の基礎も見極めつ

(11)

一服の

東部輸送對策で東部輸送對策で

十分を通います。 大瀬島協定に活況を至し、 を制込が立つたいの確認に活況を至し、 を制込が立つたいの確認に活況を至し、 を制込が立つたいの確認に活況を至し、 を制造している。 を対している。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがしる。 をがし。 をがしる。 をがし

商狀

日銀の所有公債賣却が

西氏を

日座談會

滿洲國官吏 ので、二十六日の國務院會会工十京面僧人につ変変資金二十京面僧人につ変変変元十六日の國務院會会工十京面僧人につ変変を必要を必要を表現来の間に変変を表現来の間に変変を表現ません。 住宅資金借入 鴻業公司ご商議成立

の後我の墓をが主風たなして とこの問題を申心とすると とこの問題を中心とすると といる。 は秋の 満洲 事變 とい

商品市

袋は南

證入察

各品不味

産

己ケ罪作兵

合

業性

七日より三十一日まで映書の歳末大査出し世

品

たから

スンセンナの子清泉

来高(分七日) 来高(分七日)

スパン領土

嘆きの孔雀 勢力富五郎

決算公

·鐘東大水錢新五銘◆

衡計商

一枚五

期納

克前村澤木荷 外 庄

龍愛於奇譚捲

大東京の屋根の大東京の屋根の